

令和4年度 授業改善推進プラン全体計画

小22 練馬区立田柄小学校

学校及び地域の実状
地域社会の期待や願い
保護者の期待や願い
教育界に求められる課題

関連法規等
日本国憲法
教育基本法等の関係法令
学習指導要領
東京都教育目標・主要施策
練馬区教育目標・主要施策

学校教育目標
○よく考え進んで学ぶ子ども
○なかよく助け合い 思いやりのある子ども
○心も体もたくましい子ども

各教科の指導の重点

国語
○日常生活に必要な知識や技能の習得
○伝え合う力の育成
○読書への親しみ

社会
○体験的・問題解決的な学習の充実
○事実を基に比較・関連させて表現する力の育成
○社会生活、わが国の国土や歴史についての理解

算数
○基礎的な知識理解と技能の習熟
○自分の考えをもち表現する力の育成
○既習事項を活用しようとする意欲

理科
○問題解決的な学習の充実
○現象を通して自分なりの考えをもつ能力の育成
○自然・物質・地球・環境に対する基礎的な理解

音楽
○表現したいことを表現できる技能の育成
○思いや意図をもって聞いたり表現したりする力の伸長
○音楽に親しむ態度の育成

図工
○造形的な見方・考えた方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力の育成

家庭
○生活をよりよくしようと工夫する資質・能力の育成
○衣食住の基礎的な理解と技能の育成

体育
○運動や健康についての理解と基本的な運動技能の育成
○課題解決の思考力・判断力と他者に伝える表現力の育成
○運動に親しむ態度の育成

生活
○具体的な活動や体験の重視
○生活上必要な習慣や技能の養成
○人・社会・自然とのかかわりと自分なりの考え方の育成

外国語
○コミュニケーション能力の育成
○異文化への理解

学校経営方針

基本方針

(1) 人権を尊重する教育および豊かな心を育成する教育
→豊かな感性・体験 基本的な生活習慣の確立など

(2) 確かな学力の定着と向上および健やかな体を育成する教育
→計画的でめあてを明確にした工夫のある授業

(3) 家庭および地域社会に開かれた学校
→タイムリーでいぬいな情報発信 些細なことでも連携・相談

本校における『確かな学力』

子どもの「学ぶ意欲」を原点上、一人一人のよさや可能性を発揮する学習活動と基礎的・基本的な知識や技能の定着を本校の「学力」と定義し、実現を目指す。

『確かな学力』
自分で考え、人とかがわりながら
生き生きと活動する子ども

表現力
○子ども一人一人のよさを生かし、可能性を伸ばす
○基礎的・基本的な知識や技能の定着

思考力・判断力
わかる授業 できる喜び
体験的な学習 学ぶ楽しさ

わかった! できる!
なぜだろう?
私はこう思います。理由は…

主体的に学ぶ意欲

各領域の指導の重点

総合的な学習の時間の重点
○課題を設定する能力の育成
○課題解決のための方法や手段の理解
○自分の考えを表現する能力の育成
○自分がよりよく生きるための考え方の育成

道徳教育の指導の重点
○生命尊重 ○善悪の判断 ○公共心
○公正・公平
これらの4点を重点として、心身共に豊かたくましい子どもの育成を目指す

特別活動の指導の重点
○人間関係形成に必要な資質・能力の育成
○自主的・実践的に行動する能力の育成
○社会参画に必要な資質能力の育成
○自己実現を図ろうとする態度の育成

外国語活動
○相手を意識した言語活動
○コミュニケーション能力の素地の育成

生活指導の重点
○『たがらっこ宣言7』の徹底と学期ごとの振り返り
○いじめをしない、させない指導(ふれあい月間を中心に)
○田柄小SNS ルールの取組
○家庭・地域及び関係諸機関との連携

本校の特色ある教育
○クラブ活動(年間10回の活動時間)
○卒業記念餅つき大会
○栄養指導・リクエスト献立等の食育
○学童農業体験 地域の農家との交流
○たがら元気アップタイム(20分の運動あそび)
○心のふれあい相談室 教育相談の充実

本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究・研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域との連携の工夫	小中一貫教育の視点
○子どもの興味・関心を大切にした授業の工夫・改善 ○子どもの実態に応じた学習指導 ・学習形態の多様化 ・学習進度に合わせた指導 ・既習の学習を活用 ○体験的な学習の重視 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 (モジュール、ペースドットルの活用)	○年間指導計画の作成と保護者への説明 ○教科発展型の総合的な学習の単元構成 ○年間2回の読書週間・旬旬中の読書の実施回数増加 ○令和2年度・3年度の学力調査の結果を比較しながら授業改善の成果の検証 ○学校2020レガシー構築に向けた取り組みの推進	○校内研究(国語科) 【研究主題】『主体的・対話的で深い学びを実現するための授業の創造』 【研究副主題】読むことを通して ○温かな学級づくり月間(5.10.1月) ○日々の授業改善を目指したOITの実施 ○子どもの実態に合わせた授業計画の立案	○1単位時間で身に付いた知識や技能の評価と指導の充実 ○学習過程での評価を通して行う適切な指導 ○子どものよさを伸ばし学習意欲を高める評価と指導の工夫 ○学校関係者評価の活用	○「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発リーフレット ○9.1月生活振り返りカード ○学校教育地協力者(GT) ○幼稚園、保育園や中学校との交流 ○地域農家と交流 地産野菜の収穫・給食献立 ○学校安全・安心ボランティア ○登校別班組織の確立・集団登校・緊急時の集団下校 ○防災体験教室の実施	○田柄中、田柄第二小学校と本校の3校で課設改善カリキュラムに即した授業公開の実施(年間2回) ○部活動体験 生徒会による中学校訪問会などの児童・生徒交流の実施

